

さいたま市議会での川崎照正 一般質問ダイジェスト

平成元年度9月定例会での川崎照正による一般質問登壇の内容をダイジェストでレポートします



○川崎照正 質問
「旧大宮警察署」跡地の利活用について

さいたま北部医療センター跡地は、病院解体の上、更地にして、さいたま市に戻すことになっています。

土呂駅や大宮公園駅からも徒歩圏内の利便性が高い土地であることから、地元からは土地の利活用の要望書が提出され、北区の住民も期待しております。

要望書の内容は、高齢者から子供までの利用ができる、体育館を含めた運動施設、老朽化している植竹公民館、植竹児童センターの再整備と避難場所を兼ねた多目的広場の設置等ですが、そのことについて見解を伺います。

● 櫻井財政局長 答弁

旧さいたま北部医療センター跡地活用の検討についてお答えいたします。

移転後のさいたま北部医療センター跡地の利活用につきましては、さいたま市成長加速化戦略に基づきまして、今年度の利活用方針作成に向けて検討を進めているところでございます。

利活用方針の方向性としては、本市の強みを生かしたまちづくりに寄与するものとし、特に健康、スポーツを中心とした施設、児童センターなど、周辺公共施設の複合化を作成に向けた機能の導入を検討しております。

先月には、事業の参画意欲などについて民間事業者にヒアリングするサウンディング型市場調査を実施したところであり、引き続き地元の皆様の御希望を踏まえつつ、公費負担を低減し、周辺エリアの価値を高める公民連携手法の導入を前提に検討を進めてまいります。

○川崎照正 質問

旧さいたま北部医療センター跡地は、病院解体の上、更地にして、さいたま市に戻すことになります。

土呂駅や大宮公園駅からも徒歩圏内の利便性が高い土地であることから、地元からは土地の利活用の要望書が提出され、北区の住民も期待しております。

○川崎照正 質問

北区の防犯上のかなめとなつていていた旧大宮警察署の跡地の利活用について伺います。今時点、広大な更地で、夜になると真っ暗で怖いという声もあります。



平成31年2月定例会の答弁では、県有地ということで、県において検討しているところであります。そこで、現在、県からの情報提供があつたのか。この土地は旧大宮市時代に県に寄附して大宮警察署ができた経緯があります。大宮駅周辺のまちづくりの代替地や公園用地等の目的で、県から無償譲渡を含め優先的に市において確保すべきだと考えますが、見解を伺います。

● 櫻井財政局長

埼玉県から当該跡地の利活用に関する照会が来ております。当該地は大宮駅から直線で約1キロメートル、面積は約7,000平米であります。府内各部局の利用要望等を踏まえ、引き続き検討してまいります。

● 川崎照正 質問

北部医療センターのセンター・ブリッジについて



北部医療センター跡地の利活用に関する照会が来ております。当該地は大宮駅から直線で約1キロメートル、面積は約7,000平米であります。府内各部局の利用要望等を踏まえ、引き続き検討してまいります。

● 土取建設局長 答弁

建築を取りやめた理由については、独立行政法人地域医療機能推進機構からは、病院の建築費及び最新の医療機器を導入するなど、当初の見込みを上回ることとなつたため、デッキの建設を一時凍結したいとの意向が示されました。

● 川崎照正 質問

水道事業の災害時における受援体制を含めた都市間の広域連携の必要性について

現在、多くの水道事業者が水需要の減少、更新など多くの課題を抱えている中、南海トラフ巨大地震や首都直下地震を初め、地震国であるがゆえに、いつ、どこで起ころかわからない大災害への備えが必要不可欠であり、特に首都直下地震の発生は国難とも言われております。災害時における受援体制を含めた都市間の広域連携の必要性について、見解をお聞かせ願います。

● 森田水道事業管理者 答弁

議員御指摘のとおり、自然災害への備えとしては、老朽管の更新、施設の耐震化や非常用貯水タンクの設置など施設面の整備とともに、災害時における他都市との広域的な相互連携訓練が不可欠であると考えております。また、発災後、迅速かつ効率的な応急給水、応急復旧体制が図られるよう、支援可能な範囲にある水道事業者との連携も必要と考えております。当初は病院でブリッジを管理する予定であったが、先々、市の移管も視野に入れることがあります。当初は病院でブリッジを管理する予定でしたが、これを前提に道路占用として申請し、将来に市が維持管理できる仕様で工事を進めてきた事業であります。

川崎照正
市政レポート
ホームページ



皆様からのご意見やご要望をお待ちしています

自由民主党真政さいたま市議団 川崎照正

〒331-0823さいたま市北区日進町3-486-3

TEL: 048-663-2510 / FAX: 048-669-3455

しかし、現状は道路として埋め戻されていますが、病院側は建設をやめた理由とやめる説明は市側にあつたのかを伺います。